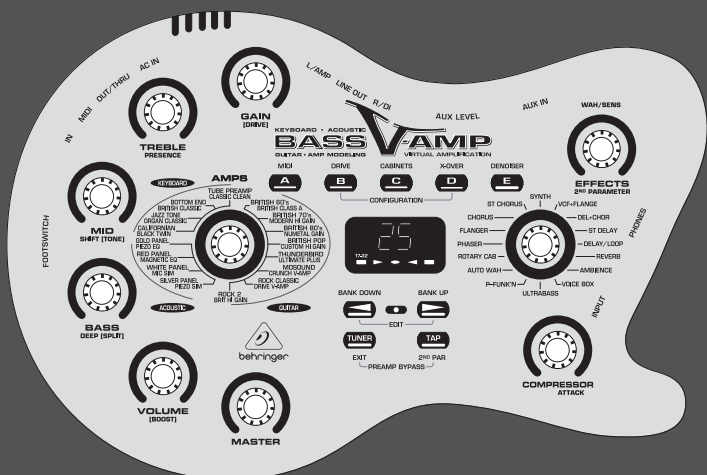


クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



BASS V-AMP LX1B/BASS V-AMP PRO LX1B PRO

The Ultimate Tone Toolbox for Bass/Acoustic/Electric Guitar and Keyboard Amp Modeling

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

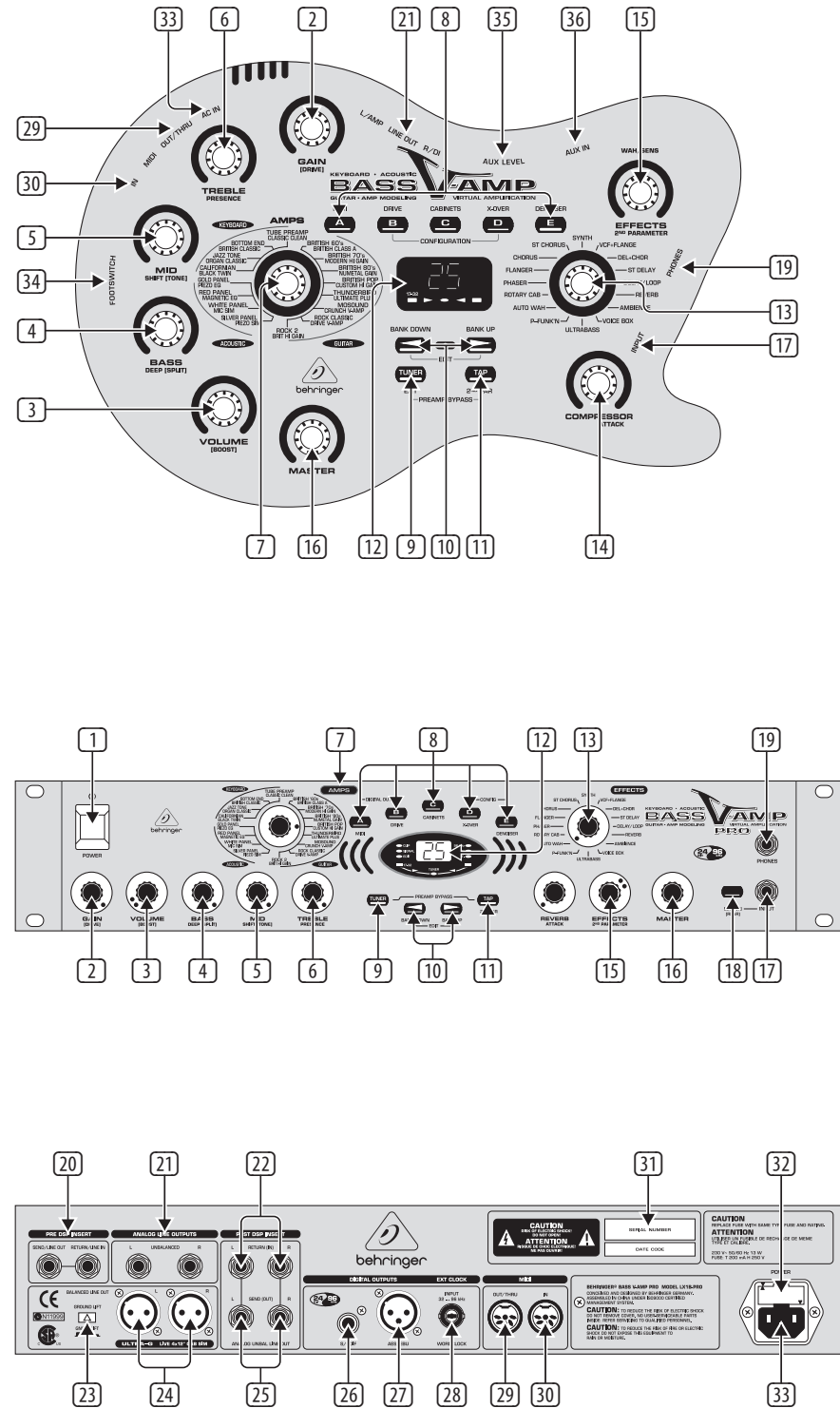
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

BASS V-AMP LX1B/BASS V-AMP PRO LX1B PRO コントロール

コントロール



操作部

- POWER** スイッチにより、V-AMP PRO の電源を入れることができます。器機を電源に差し込むとき、**POWER** スイッチが「切」の状態にあることを確認してください。
- GAIN** コントローラーはアンプシミュレーションの飽和度調整にしようします。
- VOLUME** コントローラーは選択されたプリセットの音量を調節します。
- EQ セクションの **BASS** コントローラーは低音域のブーストまたはカットを可能とします。
- MID** コントローラーは中音域のブーストまたはカットに使用されます。
- TREBLE** コントローラーで起動中のプリセットの高音域調節をおこないます。
- AMPS** コントローラーはアンプシミュレーション (全 32 種) を選択する際に使用します。コントロールの円周部には 16 基の LED で構成されるリングが装備され、各アンプのタイプ 2 種に対し 1 つの LED が対応しています。AMPS コントローラーを回転させ、最初の 16 種のシミュレーション (装置上の表示: ホワイト) を選択してください。アンプシミュレーション (17-32) (装置上の表示: グレー) を選択する場合には、TAP スイッチを押したままの状態 AMPS コントローラーを使用し、選択してください。さらに TURNER ⑨ と TAP キー ⑪ を併用することで、PREAMP BYPASS を起動させることができます。PREAMP BYPASS が選択されている場合、AMPS コントローラー上の各 LED は全く点灯しません。PREAMP BYPASS を解除するには、他の任意アンプモデルを選択するか両方のスイッチをもう一度押してください。
- これら 5 つのキーはバンク内のプリセットを選択するために使用されます。

EDIT モード (⑩ で解説されている矢印キーを同時に押すことで起動) では、キー表面に表示された機能が各キーの機能に該当します。

A: MIDI 機能を起動させます。矢印キーを使用して、MIDI 信号の送受信元となる MIDI チャンネル (1 から 16 まで) を設定します。

EDIT モード内の A キーにより MIDI 機能を選択し TAP キーを押すことで、MIDI 出力ジャックを MIDI スルーへと切替えることができます。同設定中、アンプは自己の MIDI 情報を送信せず、MIDI 入力を受ける信号のみを伝送します。

B: DRIVE 機能オン又はオフ。DRIVE 機能がオンの時、コントロール ②、③ と ⑤ が次の役目を果たします:

- GAIN で歪み度を調整 (「DRIVE」)。
- VOLUME コントローラーの使用で追加の音量調整が可能 (「BOOST」)。
- MIDI コントローラーは、シミュレーション・ディストーションペダルのサウンドコントロールのように使用してください (「TONE」)。

C: このキーにより CABINETS モードを起動します。矢印キーを使用し、スピーカータイプまたは複数スピーカー併用に関する選択をおこなってください。また、スピーカーシミュレーションの機能を完全にオフ状態とすることも可能です (「-」)。

D: X-OVER 機能を選びます。矢印キーにより、エフェクト周波数域の上限と下限の間の受信周波数を 50 段階に設定することができます。

E: DENOISER を起動させます。矢印キーを押すことによりエキスパンダーの効果度を変えることができます。EFFECTS コントローラーで感度調整、TAP + EFFECTS でノイズ・リダクションシステムの周波数域をセッします。

- TUNER** キーはチューニング装置の起動に使用されます。さらにこのキーにより EDIT モードを解除することも可能です (「Exit」)。
- これら 2 つの矢印キーは隣接するバンク (**BANK DOWN** および **BANK UP**) の選択に使用されます。このキーを長く押すことで、バンク切替を高速でおこなうことも可能です。これら 2 つのキーを同時に押すと、EDIT モードが起動されます。続けて A から E までのキー (⑧) の 1 つを押すと、矢印キーで編集機能がおこなえます。
- TAP** キーは 8 つの機能を果たします:

「TAP」: 曲のリズムに合わせて TAP キーを押すと、選択中のエフェクトのスピードが自動的に調節されます。

「DEEP」: 押された状態の TAP キー ⑪ では、BASS コントローラーは重低音に影響を与える DEEP コントローラーになります。

「Mid-Shift/Shape」: は AMPS コントローラーでアンプシミュレーションが選択されており、これで、TAP キーが押されている状態の MID コントローラーを使い中域のフル調整がおこなえます (SHIFT)。

「Presence」: TAP キーを押したままの状態 TREBLE コントローラーを操作すると、選択中のアンプシミュレーションの PRESENCE 設定を変更することができます。

「2nd Parameter」: EFFECTS コントローラーで調節する第 2 のエフェクトパラメーターも、TAP キーを押したままの状態で作ることにより設定できます。

「Amp-Modelle 17-32」: TAP キーを押したままの状態、AMPS コントローラーを使って適切なものを選んでください。

「MIDI Thru」: MIDI 出力ソケットは MIDI Thru に切り替えることができます (⑧ A 参照)。

「Compressor」: COMPRESSOR コントローラーは、TAP キーが押された状態のとき、調整時間 (Attack/Release) をセッします (⑭ 参照)。

- DISPLAY** には選択中のエフェクトバンクが表示され、編集の際におこなわれた変更を確認することができます。TUNER モードでは、接続中の楽器のチューニングが DISPLAY に表示されます。アンプシミュレーション 17-32 を選択中には DISPLAY 左下の LED が点灯します。
- EFFECTS** コントローラーによって、エフェクト・プリセットを一つ、又は各種エフェクトのコンビネーションを選ぶことができます。やはりこのエンドレスの回転式コントロールの周りにも、16 の LEDs がずらりと並んでいます。各々のエフェクトに 1 つの LED が割り当てられています。
- COMPRESSOR** コントローラーを使い、サウンド全体を圧縮、すなわち制限することができます。COMPRESSOR コントローラーを、LED が点灯していない位置まで左にまわした場合、信号の強さは変わりません。

EFFECTS コントローラー ⑬ を使い、あるエフェクトを選ぶと、**EFFECTS MIX** コントローラーで、サウンド全体におけるその効果の割合をセッできます。

MASTER コントローラーで BASS V-AMP/BASS V-AMP PRO の全体ボリュームを調節します。

INPUT と表示されているコネクタはエレキベース、アコースティックギターやキーボード接続のために使用され、BASS V-AMP/BASS V-AMP PRO の 6.3 mm コネクタ入力端子です。

BASS V-AMP LX1B/BASS V-AMP PRO LX1B PRO コントロール

コントロール

- ① **LINE IN** スイッチにより、BASS V-AMP PRO で作業をおこなう信号ソースを選択します。このスイッチを押していない状態で、INPUT コネクターに接続されている高インピーダンス信号を加工します (お手持ちのエレキペーすなど)。スイッチを押した状態では、PRE DSP INSERT (LINE IN、) へ接続されているライン信号がプロセッサーへ送られます (とりわけキーボードに有効)。
- ② **PHONES** ジャックは、BASS V-AMP/V-AMP PRO のオーディオ信号を市販のステレオヘッドフォンに接続するために使用します。
- ③ BASS V-AMP PRO は外部エフェクト (ワウペダル など) のルーピングを可能とするシリアルインサートバスを装備しています。
- ④ **ANALOG LINE OUTPUTS** から、BASS V-AMP PRO のステレオ信号をアナログスピーカースミュレーションなしに取り出すことができます。
- ⑤ **POST DSP INSERT RETURN (IN)** の両ステレオフォンジャックを、お手持ちの外部ステレオエフェクターの出力側と接続することができます。
- ⑥ **GROUND LIFT** スイッチにより、DI OUT 出力  のグラウンド接続を切断させることができます。これにより、ハムノイズやグラウンドループを防ぐことが可能となります。このスイッチを押した状態 (LIFT) で、グラウンドが切断されます。
- ⑦ **DI OUT** 出力から、BASS V-AMP PRO のステレオ信号をバランス式に取り出すことができます。この出力をお手持ちのミキサーに装備された 2 つのバランスチャンネル入力と接続してください。レベルはスタジオ・モードで +4 dBu、ライブ・モードで -10 dBu に設定されています。
- ⑧ **POST DSP SEND (OUT)** ステレオ出力を介し、お手持ちの外部ステレオエフェクターの入力側と接続することができます。
- ⑨ **S/PDIF** 出力から、BASS V-AMP PRO の信号をデジタル式に取り出すことができます。
- ⑩ **AES/EBU** 出力 (XLR ジャック) には、AES/EBU が出力フォーマットとして選択されている場合、BASS V-AMP PRO のデジタル出力信号が AES/EBU フォーマットで送り出されます。

- ⑪ BASS V-AMP PRO と外部同期化をおこなうデバイスを、BNC 技術を採用した **WORDCLOCK** 接続ジャックに接続してください。このジャックは高インピーダンス装備がなされ、75 Ω 端末抵抗を内蔵していません。
- ⑫ BASS V-AMP PRO の **MIDI OUT/THRU** ジャック。
- ⑬ **MIDI IN** には MIDI フットペダル (BEHRINGER MIDI FOOT CONTROLLER FCB1010 など) を接続することができます。
- ⑭ **シリアルナンバー**。
- ⑮ **ヒューズホルダー / 電圧選択装置**。
- ⑯ 電源への接続には付属の標準 **IEC** コネクターを使用します。
- ⑰ **FOOTSWITCH** ジャックには、お手持ちのフットスイッチ FS112V のステレオフォンプラグをお使いください。これにより 1 つのバンク内でプリセットの切り替えができるようになります。
- ⑱ **AUX LEVEL** コントローラーを使って AUX IN 入力へ取り込まれた信号のボリュームを調整します。
- ⑲ **AUX IN** コネクター入力により、BASS V-AMP へさらに追加のステレオ信号の取り込みを可能にします。例えばドラムマシンやプレイバックに向かい演奏することができます。

Amps 1 - 16 (白)	Amp #	キャビネット・シミュレーション (初期設定)	Cab #
BRITISH '60s	0	68 Marshall 4x12"	6
BRITISH '70s	1	68 Marshall 4x12"	6
BRITISH '80s	2	Trace Elliot 4x10"	2
BRITISH POP	3	Voc AC100 2x15"	9
THUNDERBIRD	4	1x8" Tweed	16
MOSOUND	5	Ampeg B15 1x15" Closed Back Combo	7
ROCK CLASSIC	6	Ampeg SVT 8x10" '97	1
ROCK 2	7	Ampeg SVT 8x10" '97	1
SILVER PANEL	8	Fender Bassman 2x15" with JBLs	11
WHITE PANEL	9	6x10" SWR Goliath Senior	3
RED PANEL	10	6x10" SWR Goliath Senior	3
GOLD PANEL	11	Ampeg 4x10"	4
CALIFORNIAN	12	Mesa/Boogie 2x15"	10
JAZZ TONE	13	Polytone A101, 1x15" Closed Back Combo	8
BOTTOM END	14	Ampeg SVT 18E, 1x18"	14
TUBE PREAMP	15	スピーカーシミュレーション無	-
Amps 17 - 32 (グレー)	Amp #	キャビネット・シミュレーション (初期設定)	Cab #
BRITISH CLASS A	16	2x12" Twin Combo	18
MODERN HI GAIN	17	4x12" V-AMP Custom	23
RECTIFIED HIGH GAIN	18	4x12" Vintage 30	20
CUSTOM HI GAIN	19	4x12" '78 Std.	21
ULTIMATE PLUS	20	4x12" V-AMP Custom	23
CRUNCH V-AMP	21	4x12" '78 Std.	21
DRIVE V-AMP	22	4x12" Vintage 30	20
BRIT. HIGH GAIN	23	4x12" '78 Std.	21
PIEZO SIM.	24	スピーカーシミュレーション無	-
MIC. SIM.	25	スピーカーシミュレーション無	-
MAGNETIC EQ	26	スピーカーシミュレーション無	-
PIEZO EQ	27	スピーカーシミュレーション無	-
BLACK TWIN	28	2x12" Twin Combo	18
ORGAN CLASSIC	29	Leslie 760 Cabinet, 1x15"+HF Horn	12
BRITISH CLASSIC	30	4x12" '78 Std.	21
CLASSIC CLEAN	31	2x12" V-AMP Custom	19
PREAMP BYPASS	32	スピーカーシミュレーション無	-

アンプ・モデルに対するキャビネット・シミュレーションの割り当て

キャビネット・シミュレーション	
-	BYPASS (スピーカーシミュレーション無)
1	AMPEG SVT 8 x 10" '97
2	TRACE ELLIOT 4 x 10"
3	SWR GOLIATH 4 x 10"
4	AMPEG 4 x 10"
5	GALLIEN KRUEGER B120
6	68 MARSHALL 4 x 12"
7	AMPEG B15 1 x 15" CLOSED BACK COMBO
8	POLYTONE A101 1 x 15" CLOSED BACK COMBO
9	VOX AC100 2 x 15"
10	MESA/BOOGIE 2 x 15"
11	FENDER BASSMAN 2 x 15" WITH JBLs
12	LESLIE 760 CABINET, 1 x 15" + HF-DRIVER
13	SWR 1 x 18"
14	AMPEG SVT 18E, 1 x 18"
15	SUNN COLISEUM 1 x 18" + 1 x 12"
16	1 x 8" TWEED
17	1x 12" MID
18	2 x 12" TWIN COMBO
19	2 x 12" V-AMP CUSTOM
20	4 x 12" VINTAGE 30
21	4 x 12" '78 STD.
22	4 x 12" OFF AXIS
23	4 x 12" V-AMP CUSTOM

キャビネット・シミュレーション 一覧

behringer.com にてマニュアルをチェック

JP技術仕様

	BASS V-AMP	BASS V-AMP PRO
オーディオ入力		
楽器入力	6.3 mm モノラル・フォンジャック、アンバランス型	
入力インピーダンス	1 MΩ	
最大入力レベル	+3 dBu	
AUX IN	6.3 mm ステレオ・フォンジャック、バランス型	
入力インピーダンス	50 kΩ	
PRE DSP RETURN LINE IN	-	6.3 mm モノラル・フォンジャック、アンバランス型
入力インピーダンス	-	45 kΩ
最大入力レベル	-	+9 dBu
POST DSP INSERT RETURN L/R	-	6.3 mm モノラル・フォンジャック、アンバランス型
入力インピーダンス	-	40 kΩ
最大入力レベル	-	+8 dBu
オーディオ出力		
ANALOG LINE OUTPUTS L/R	6.3 mm モノラル・フォンジャック、アンバランス型	
出力インピーダンス	約 680 Ω	
最大出力レベル	+20 dBu	
ヘッドホン接続	6.3 mm ステレオ・フォンジャック、アンバランス型	
最大出力レベル	+15 dBu/100 Ω (+23 dBm)	
PRE DSP SEND/LINE OUT	-	6.3 mm モノラル・フォンジャック、アンバランス型
最大出力レベル	-	<1 kΩ
最大出力レベル	-	+9 dBu
POST DSP INSERT SEND L/R	-	6.3 mm モノラル・フォンジャック、アンバランス型
出力インピーダンス	-	1 kΩ
最大出力レベル	-	+8 dBu
BALANCED LINE OUT	-	XLR、バランス型
出力インピーダンス	-	100 Ω
最大出力レベル	-	+14 dBu (Studio); 0 dBu (Live)
デジタル出力		
XLR	-	変圧バランス型
出力インピーダンス	-	110 Ω
名目出力インピーダンス	-	3.5 V peak-to-peak
CINCH	-	ピンプラグ
出力インピーダンス	-	75 Ω
名目出力インピーダンス	-	0.5 V peak-to-peak
フォーマット	-	AES/EBU 及び S/PDIF、切換可
サンプル周波数	-	44.1/48/96 kHz 内部; 32-96 kHz Wordclock、 Sample Rate Converter
WORDCLOCK 入力		
BNC	-	同軸
入力インピーダン	-	50 kΩ
名目入力インピーダンス	-	2-6 V peak-to-peak
MIDI		
タイプ	5極型DINコネクター IN、OUT/THRU	

	BASS V-AMP	BASS V-AMP PRO
デジタル信号処理		
コンバーター	24ビット Delta-Sigma、64/128倍 オーバーサンプリング	
ダイナミック A/D	100 dB @ Preamp Bypass	
ダイナミック D/A	92 dB	
サンプリング・レート	31.250 kHz	
DSP	100 Mips	
Delay Time	最大 1023 ms stereo/Sampler Delay: 15.36 秒	
信号送信時間 (Line In → Line Out)	約 5 ms	
ディスプレイ		
タイプ	2桁 7セグメントLED	
電源供給		
電圧	アメリカ/カナダ 120 V～、60 Hz	
	イギリス/オーストラリア 240 V～、50 Hz	ヨーロッパ/イギリス/オーストラリア 230 V～、50 Hz
	ヨーロッパ 230 V～、50 Hz	日本 100 V～、50 – 60 Hz
	日本 100 V～、50 – 60 Hz	一般輸出用モデル 120-230 V～、 50-60 Hz
消費電力	15 W	
ヒューズ	100-120 V～: T 400 mA H	
	200-240 V～: T 200 mA H	
電源コネクター	外部電源	標準 IEC コネクター
外形寸法/重量		
外形重量 (高さ x 幅 x 奥行)	63 x 236 x 180 mm	89 x 482,6 x 135 mm
	2 1/2 x 9 1/4 x 7 1/8 inch	3 1/2 x 19 x 5 1/4 inch
重量	約 2 kg	約 2.76 kg
	約 4.4 lbs	約 6 lbs

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにいるときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You